

スケジュール	
11:00	開会式 11:00~11:05
11:05~12:00 (60)	E-1 日本泌尿器科学会 泌尿器科領域単位講習 1単位 「取扱規約病理診断とWHOclassification 改訂の解説」
12:00	
12:15~13:15 (60)	LS-1 ランチョンセミナー 「作用機序から考えるIO+TKI併用療法の有用性」～なぜ効くのか?～ 共催：メルクバイオファーマ株式会社、ファイザー株式会社
13:00	
13:25~14:10 (45)	SS-1 スポンサーセッション 「腎癌治療におけるロボット支援手術の可能性」 共催：インテュイティブサージカル合同会社
14:00	
14:15~15:05 (50)	JS-1 研究会主導シンポジウム 「これからの腎癌術後補助療法を推奨する症例像を考える」
15:00	
15:05~15:30 (25)	総会
15:35~16:35 (60)	Poster Session
16:00	
16:40~17:30 (50)	JS-2 研究会主導シンポジウム 「1st-lineの薬剤選択 — 私が考える選択はこれだ！」
17:00	
17:35~18:25 (50)	SS-2 スポンサーセッション 「Multi-disciplinary board：ベストなShared decision makingにむけて」 共催：小野薬品工業株式会社、プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
18:00	
18:30~19:20 (50)	SS-3 スポンサーセッション 「Real-worldにおける薬物治療選択 — 実臨床で遭遇する患者にどう対応するか —」 共催：武田薬品工業株式会社
19:00	
	閉会式 19:20~19:25

第52回腎癌研究会 プログラム

E-1 教育講演 「取扱規約病理診断とWHOclassification 改訂の解説」 11:05-12:05

座長：江藤 正俊（九州大学 泌尿器科）

E-1-1 腎腫瘍WHO分類第5版（WHO2022）の主な改定点: 全体の概念、乳頭状腎細胞癌、分子生物学的手法により分類された組織型について 都築 豊徳（愛知医科大学 病理学）

E-1-2 腎腫瘍WHO分類第5版（WHO2022）の主な改定点2: Oncocytic and chromophobe renal tumorを中心に 大橋 瑠子（新潟大学 病理学）

LS-1 ランチョンセミナー 「作用機序から考えるIO+TKI併用療法の有用性」～なぜ効くのか？～ 12:15-13:15

座長：立神 勝則（北九州市立医療センター 泌尿器科）

共催：メルクバイオファーマ株式会社、ファイザー株式会社

LS-1-1 腫瘍微小環境の制御と腫瘍免疫 高倉 伸幸（大阪大学 微生物病研究所）

LS-1-2 進行性腎細胞癌における免疫チェックポイント阻害薬と腸内細菌叢 内藤 裕二（京都府立医科大学 生体免疫栄養学）

SS-1 スポンサーセッション 「腎癌治療におけるロボット支援手術の可能性」 13:25-14:10

座長：立神 勝則（北九州市立医療センター 泌尿器科）

山崎 俊成（神戸市立医療センター中央市民病院 泌尿器科）

共催：インテュイティブサージカル合同会社

SS-1-1 ロボット支援手術、腹腔鏡手術 それぞれの利点と欠点 山崎 健史（大阪市立大学 泌尿器科）

SS-1-2 RAPNにおける術中トラブルとその対応 大庭 康司郎（長崎大学 泌尿器科）

SS-1-3 RARNの初期経験～静脈腫瘍塞栓随伴例などの困難症例を中心に 三宅 秀明（浜松医科大学 泌尿器科）

JS-1 研究会主導シンポジウム 「これからの腎癌術後補助療法を推奨する症例像を考える」 14:15-15:05

座長：小原 航（岩手医科大学 泌尿器科）、高橋 正幸（徳島大学 泌尿器科）

JS-1-1 腎癌術後補助療法のoverview

～分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬の臨床試験結果を中心に～ 北村 寛（富山大学 泌尿器科）

JS-1-2 病期T2-3腎癌に対する術後補助療法の意義 亭島 淳（神戸市立医療センター西市民病院 泌尿器科）

JS-1-3 術後補助療法（pN1+M1NED） 大庭康司郎（長崎大学 泌尿器科）

Poster Session1 「基礎研究・病理」

15:35-16:31

座長：都築 豊徳（愛知医科大学 病理診断科）

P-1 固形癌PDXマウスモデルを用いたIL-7/CCL19産生型ヒトCAR-T細胞による抗腫瘍効果の検討

後藤 駿介（九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野）

P-2 淡明細胞型腎細胞癌における腫瘍内免疫環境と線維芽細胞増殖因子の関係性についての探索

成澤 貴史（山形大学医学部 腎泌尿器外科学講座）

P-3 シングルセルトランスクリプトーム解析を用いた遺伝性腎癌における腫瘍内不均一性と腫瘍微小環境の解明

軸屋 良介（横浜市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学／理化学研究所生命医科学研究センターがんゲノム研究チーム）

- P-4 BHD関連腎癌の全ゲノム解析とトランスクリプトーム解析に基づく発癌機序と病態解明
軸屋 良介 (横浜市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学/理化学研究所生命医科学研究センターがんゲノム研究チーム)
- P-5 患者由来淡明細胞腎がんモデルを用いて明らかにされた腫瘍促進・予後因子としてのNeuritin1の役割
鎌田 修平 (千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学/埼玉医科大学ゲノム応用医学)
- P-6 局所進行腎細胞癌を再考する：病理学的腎実質内浸潤/進展の意義
田中 一 (東京医科歯科大学大学院 腎泌尿器外科学)
- P-7 腎細胞がんにおける腫瘍免疫微小環境のフローサイトメトリーによる解析
福田 洋典 (東京女子医科大学 泌尿器科)
- P-8 粘液管状紡錘型腎癌における15例の臨床的検討
小針 悠希 (東京女子医科大学病院)

Poster Session2 「予後因子など」

15:35-16:31

座長：木村 剛 (日本医科大学 泌尿器科)

- P-9 Nivolumab/Ipilimumab治療におけるG8 scoreの有用性の検討
佐塚 智和 (千葉大学 泌尿器科)
- P-10 手術療法を行った淡明細胞型腎細胞癌におけるC反応性蛋白の予後因子としての意義:国内多施設共同研究による検討
中山 哲成 (獨協医科大学 埼玉医療センター泌尿器科)
- P-11 高リスク限局性腎癌の再発予測因子としての術後CRP値の有用性
石山 雄大 (東京女子医科大学附属足立医療センター)
- P-12 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法のirAEと治療効果の関連についての検討
蘇武 竜太 (秋田大学大学院 医学系研究科腎泌尿器科学講座)
- P-13 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ治療におけるMixed responseの頻度と意義
石川 雄大 (東京医科歯科大学大学院 腎泌尿器外科学)
- P-14 当院の腎癌術後長期フォローアップに関する臨床的検討
新井 隆之 (千葉大学医学部附属病院)
- P-15 カボザンチニブ治療中の進行性腎細胞癌患者における患者報告アウトカム (PRO: Patient Reported Outcome) を用いた有害事象管理の有用性検討：国内第II相ランダム化試験プロトコル (electric-PRO vs paper-PRO vs通常ケア)
大澤 崇宏 (北海道大学大学院医学研究院 腎泌尿器外科学教室)
- P-16 腎細胞癌薬物治療に対する患者と医療従事者間のニーズの相違を調査する横断的観察研究
木村 剛 (日本医科大学付属病院 泌尿器科)

Poster Session3 「腎部分切除術など」

15:35-16:10

座長：近藤 恒徳 (東京女子医科大学足立医療センター 泌尿器科)

- P-17 腎部分切除または腎摘除術後の腎機能予測式の日本人患者集団における検証
橘 秀和 (済生会栗橋病院 泌尿器科)
- P-18 RAPN術後再発症例に関する検討
門司 恵介 (九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野)
- P-19 根治的腎摘除または腎部分切除後のNew baselineから2年以内の20%以上のeGFR低下
范 博 (東京医科歯科大学大学院 腎泌尿器外科学)
- P-20 琉球大学病院におけるRAPNの検討
高江洲 大 (琉球大学病院)
- P-21 腹腔鏡手術を施行した腎細胞癌pT3a upgrade症例の検討
藤原 敦子 (京都府立医科大学 泌尿器科)

Poster Session4 「転移癌に対する手術」

15:35-16:17

座長：深沢 賢（千葉県がんセンター 泌尿器科）

- P-22 免疫チェックポイント阻害薬投与後に腎摘除術を行った2例 元島 崇信（熊本大学 泌尿器科）
- P-23 Nivolumab+Ipilimumab投与後にdelayed cytoreductive nephrectomyやmetastasectomyを施行した症例の臨床病理学的検討 武田 隼人（日本医科大学）
- P-24 nivolumab・ipilimumab併用療法後、切除可能となったcT3b腎癌・下大静脈腫瘍栓の3例
大島 記世（富山大学学術研究部 医学系腎泌尿器科学講座）
- P-25 転移性腎癌に対する原発巣摘除の有効性の検討 北島 和樹（北里大学医学部 泌尿器科）
- P-26 ニボルマブ・イピリムマブ療法後に腎摘を施行した転移性腎癌症例 深沢 賢（千葉県がんセンター）
- P-27 転移性腎細胞癌患者における腎摘出術の有無による免疫チェックポイント阻害剤併用療法の効果の検討:メタアナリシス
森 啓一郎（東京慈恵会医科大学附属病院 泌尿器科）

Poster Session5 「一次治療(1)」

15:35-16:24

座長：金尾 健人（埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器科）

- P-28 単剤治療が行われた進行性腎細胞癌IMDC favorableリスク群における治療成績の検討
水野 隆一（慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室）
- P-29 進行性腎癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法とスニチニブ治療における原発巣と遠隔転移部位における早期の抗腫瘍効果の比較 加藤 廉平（岩手医科大学）
- P-30 金沢大学病院における進行性腎癌に対するIpi+NivoおよびIO+TKI療法の初期経験
八重樫 洋（金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科泌尿器集学的治療学）
- P-31 進行性腎細胞癌における1次治療としてのImmuno-Oncology combination療法の意義
植田 浩介（久留米大学医学部 泌尿器科学教室）
- P-32 新潟大学医歯学総合病院における進行性腎細胞癌の一次治療成績 田崎 正行（新潟大学医歯学総合病院）
- P-33 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法の有用性の検討 岡添 誉（香川大学 泌尿器科）
- P-34 1stライン腎癌薬剤療法選択の傾向と短期治療成績 愛媛県下腎癌薬物療法症例の多施設共同データベースDARC-MICANより
三浦 徳宣（愛媛大学大学院 医学系研究科泌尿器科学）

Poster Session6 「一次治療(2)」

15:35-16:17

座長：納谷 幸男（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科）

- P-35 治験除外症例における転移性腎癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の効果に関する検討
石原 弘喜（東京女子医科大学附属足立医療センター）
- P-36 東京女子医大足立医療センターにおけるカボザンチニブ+ニボルマブ併用療法の初期使用経験
西村 紘一（東京女子医大足立医療センター 泌尿器科）
- P-37 転移性骨腫瘍を有する低リスク腎癌患者に対するCabozantinib+Nivolumab併用療法の使用経験
澄川 涼太（北九州市立医療センター）
- P-38 横浜市立大学附属病院における転移性腎細胞癌に対するIpilimumab/Nivolumab併用療法の治療成績
野口 剛（横浜市立大学附属病院 泌尿器科）
- P-39 転移性腎細胞癌に対するベムプロリズマブ/レンバチニブ併用療法の使用経験 吉田 一彦（東京女子医科大学）
- P-40 高齢者の転移性腎細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の有効性と安全性
根本 侑樹（東京女子医科大学附属足立医療センター）

Poster Session7 「逐次治療」

15:35-16:31

座長：舩森 直哉（札幌医科大学 泌尿器科）

- P-41 転移性腎細胞癌患者におけるニボルマブ単剤投与後の分子標的薬治療成績に関する臨床的検討
山下 真平（和歌山県立医科大学 泌尿器科）
- P-42 進行性腎細胞癌に対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法後の二次治療の有用性及び安全性の検討
飯沼 光司（岐阜大学）
- P-43 進行性腎細胞癌に対するCabozantinibの初期使用経験 伊東 直城（久留米大学医学部 泌尿器科学教室）
- P-44 当院における進行性腎癌に対するカボザンチニブの使用経験 門本 卓（金沢大学 泌尿器科）
- P-45 進行性腎細胞癌に対するNivolumab単剤療法の有害事象と予後の検討
晝間 楓（新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科）
- P-46 当院における転移性腎細胞癌に対する二次治療以降のカボザンチニブ治療成績
長坂 拓学（神奈川県立がんセンター）
- P-47 当院におけるニボルマブ・イピリムマブ併用療法後の2次治療の検討 志賀 正宣（筑波大学附属病院 泌尿器科）
- P-48 進行性腎細胞癌の治療実態に関する前向き観察研究 野澤 昌弘（近畿大学）

Poster Session8 「症例報告」

15:35-16:31

座長：永田 政義（順天堂大学 泌尿器科）

- P-49 当院における進行性腎細胞癌に対する抗PD-1抗体オプジーボ単剤療法での副腎不全の検討
関根 啓太（帝京大学ちば総合医療センター）
- P-50 腫瘍随伴症候群としての著明な貧血を認めた転移性腎細胞癌の1例
勝 彬史（日本医科大学付属病院 泌尿器科）
- P-51 ペムブロリズマブ・アキシチニブ併用療法で病理学的完全奏効が得られた転移性腎癌の一例
清水 一希（ベルランド総合病院）
- P-52 GC療法を含む集学的治療が有効であった転移性集合管癌の2例 古川 祥之（防衛医科大学校 泌尿器科学講座）
- P-53 尿閉を契機として発見された腎細胞癌前立腺転移の1例 井熊 俊介（日本医科大学 泌尿器科）
- P-54 透析患者に対するオプジーボ・ヤーボイの使用経験 巢山 貴仁（帝京大学ちば総合医療センター）
- P-55 カボザンチニブ開始後に空洞性肺病変を形成した転移性腎癌5例の検討
稲川 徹（東京女子医科大学附属足立医療センター）
- P-56 イピリムマブ・ニボルマブ併用療法により長期無治療が得られた乳頭状腎細胞癌の1例
大豆本 圭（徳島大学大学院医歯薬学研究所 泌尿器科学分野）

JS-2 研究会主導シンポジウム 「1st-lineの薬剤選択 — 私が考える選択はこれだ！」 16:40-17:30

座長：玉田 聡（ベルランド総合病院 泌尿器科）、畠山 真吾（弘前大学 泌尿器科）

- JS-2-1 症例提示 玉田 聡（ベルランド総合病院 泌尿器科）
畠山 真吾（弘前大学 泌尿器科）

コメンテーター：山下 真平（和歌山県立医科大学 泌尿器科）

コメンテーター：関根 悠哉（秋田大学 泌尿器科）

SS-2 スポンサーセッション「Multi-disciplinary board:ベストなShared decision makingにむけて」 17:35-18:25

座長：藤井 靖久（東京医科歯科大学 泌尿器科）

共催：小野薬品工業株式会社、ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

SS-2-1 転移性腎細胞癌における集学的治療アプローチ

本郷 文弥（京都府立医科大学 泌尿器科）

総合討論 Case Discussion:mRCCの集学的治療

伊藤 慶（駒込病院 放射線治療科）

近藤 千紘（国立がん研究センター東病院）

城武 卓（埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科）

本郷 文弥（京都府立医科大学 泌尿器科）

SS-3 スポンサーセッション「Real-worldにおける薬物治療選択—実臨床で遭遇する患者にどう対応するか—」 18:30-19:20

座長：原田 健一（産業医科大学 泌尿器科）、佐々 直人（愛知医科大学病院 泌尿器科）

共催：武田薬品工業株式会社

SS-3-1 ハイリスク因子を有する症例への薬物治療選択 ～転移や腫瘍量などの視点から考える～

田中 俊明（札幌医科大学 泌尿器科）

SS-3-2 合併症を有する患者における薬物治療選択

三浦 裕司（虎の門病院 臨床腫瘍科）

SS-3-3 様々な背景を有する症例への副作用マネジメント

藤堂 真紀（埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部）